

岩手労働局発表
平成26年8月22日

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 安倍 賢
主任安全専門官 村井 雄亮
(電話) 019-604-3007

平成26年(7月まで)の労働災害発生状況(速報値)

~ 本年7月までの労働災害による死傷者数は、前年同期比9人(1.2%)増加 ~
~ 同死亡者数は、前年同期比11人増加 ~

岩手労働局(局長 弓 信幸)は、平成26年7月までの県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況(速報値)を取りまとめました。

平成26年7月までの死傷者数は前年同期比で9人(1.2%)の増加となっています。また、死亡者数は17人となっており、前年同期比で11人の増加となっています。

岩手労働局では死亡労働災害が増加していることから、管下の労働基準監督署はもとより県内の主要な労働災害防止団体、経済団体及び労働団体とともに「死亡労働災害防止強化期間」を設定し、安全衛生パトロールの積極的な実施など、より一層の労働災害防止対策の徹底に取り組みました。

「死亡労働災害防止強化期間」については期間中の6月に死亡労働災害が発生しなかった等取組に一定の効果がありましたが、当該期間中に死亡労働災害が4件(5月8日、5月29日、7月5日、7月31日)発生し、さらに当該期間終了直後の8月4日に死亡労働災害が2件発生(【表2】参照)しており、死亡労働災害発生に歯止めがかかっている状況ではありません。

また、全国の労働災害発生状況においても、死亡者数が大幅に増加し、休業4日以上死傷者数も増加傾向にあって、極めて憂慮すべき事態となっています。

このような状況から岩手労働局では、関係団体の長に対し、労働災害防止の徹底に関する要請を行うとともに、関係行政機関・災害防止団体との連携を図り、パトロールの実施等の集中的取組を実施することとしています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】【グラフ1】

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は737人(速報値)で、前年同期比で9人(1.2%)増加となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は増加数が多い順に、建設業148人(前年同期比+13人、9.6%)、運輸交通業87人(同+12人、16.0%)、製造業157人(同+6人、4.0%)、畜産水産業22人(同+3人、13.6%)、商業98人(同+2人、2.1%)となっています。

前年同期比で減少した業種は減少数が多い順に、通信業21人(同-8人、-27.6%)、農林業38人(同-7人、-15.6%)、保健衛生業45人(同-4人、-8.2%)、接客娯楽業33人(同-3人、-8.3%)、その他の業種84人(同-2人、-2.3%)、貨物取扱業0人(同-2人、-100.0%)、鉱業4人(同-1人、-20.0%)となっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、173人(23.5%)となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、153人(20.8%)、「はさまれ、巻き込まれ」84人(11.4%)の順となっています。

2 死亡災害 【表2】

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は17人(速報値)で、前年同期比で11人の増加となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では建設業が7人と最も多く、商業が4人、その他の業種(清掃・と畜業、ビルメンテナンス業、教育・研究業、その他の事業、各1人)が4人、運輸交通業及び製造業が各1人となっています。

(3) 事故の型別状況

「墜落・転落」が6人、「交通事故(道路)」が5人、「激突され」と「はさまれ、巻き込まれ」が各2人、「崩壊・倒壊」と「感電」が各1人となっています。

【表1】

平成26年 1月～ 7月 労働災害発生状況（休業4日以上之死傷者数）

岩手労働局

業種	岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
	26年	25年	増減数	増減率								
製造業	食料品	19	9	10	111.1%		5	5		6	3	
	水産食料品											
	上記以外の食料品	39 (1)	40	-1	-2.5%	17	1		7	5	7	
	繊維・衣服その他繊維製品	6	4	2	50.0%				2	3	1	
	木材・木製品、家具・装備品	26 (1)	29 (1)	-3	-10.3%	3	5	2	6	1	3	6
	パルプ・紙、印刷・製本	3	8	-5	-62.5%				1	2		
	化学工業	4	9 (1)	-5	-55.6%	1		1	1	1		
	窯業土石製品	11	6	5	83.3%		3	2	3	2		1
	鉄鋼業、非鉄金属	8	6	2	33.3%	3			3	2		
	金属製品	16	13	3	23.1%	2		1	4	7	1	1
	一般機械器具	7 (1)	8	-1	-12.5%		1	1	5			
	電気機械器具	3	7	-4	-57.1%				1	1		1
	輸送用機械製造	5	4	1	25.0%				4		1	
	電気・ガス	0	0	0								
その他の製造業	10	8	2	25.0%	4			4	1		1	
小計	157 (3)	151 (2)	6	4.0%	30	15	12	41	25	13	21	
鉱業	4	5	-1	-20.0%				2		1	1	
建設業	土木工事	50 (2)	38 (8)	12	31.6%	12	12	3	7	5	9	2
	建築工事											
	鉄骨・鉄筋家屋	11 (5)	20 (5)	-9	-45.0%	1	1	1	3		2	3
	木造家屋	41	35	6	17.1%	13	3	6	4	10	3	2
	その他の建築工事	23	24	-1	-4.2%	10			6	3		4
その他の建設	23 (4)	18	5	27.8%	8	3		3	2	6	1	
小計	148 (11)	135 (13)	13	9.6%	44	19	10	23	20	20	12	
運輸交通業												
道路貨物運送業	71 (5)	64 (4)	7	10.9%	26	5	2	24	7	2	5	
その他の運輸交通業	16	11	5	45.5%	12			3	1			
貨物取扱	0	2	-2	-100.0%								
農林業	農業	5 (1)	8	-3	-37.5%	1	1		3			
	林業	33	37	-4	-10.8%	10	3	3	2	3	5	7
畜産水産業	畜産業	17	17	0	0.0%	5	1	1	7		2	1
	水産業	5	2	3	150.0%		2	1			1	1
商業	小売業	72 (12)	77 (6)	-5	-6.5%	33	6	2	16	5	2	8
	その他の商業	26	19 (5)	7	36.8%	15	2		7		1	1
通信業	21 (10)	29 (17)	-8	-27.6%	7		1	6	6		1	
保健衛生業	社会福祉施設	37 (3)	38 (3)	-1	-2.6%	7	3	4	12	7		4
	その他の保健衛生業	8	11	-3	-27.3%	3			2	3		
接客娯楽業	旅館業	9 (1)	15	-6	-40.0%	4	1		2	2		
	飲食店	19	12	7	58.3%	12	1		1	4	1	
	その他の接客娯楽業	5 (1)	9	-4	-44.4%	3			1	1		
その他	ビルメンテナンス業	17 (3)	12	5	41.7%	14			2	1		
	その他（上記以外の業種）	67 (6)	74 (11)	-7	-9.5%	20	6	4	10	12	8	7
合計	737 (56)	728 (61)	9	1.2%	246	65	40	164	97	56	69	
(注) 平成26年7月末の速報値である。					前年同期	259	41	48	163	81	57	79
数字は死亡者数（内数）、（ ）数字は交通労働災害（内数）である。					増減数	-13	24	-8	1	16	-1	-10
					増減率	-5.0%	58.5%	-16.7%	0.6%	19.8%	-1.8%	-12.7%

番号	署別	業種	発生 月日	曜日	性別	年齢	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	花巻	商業	1月9日	木	女	79	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	新聞配達中に道路を横断していたところ、軽貨物自動車に轢かれた。	
2	釜石	建設業 (土木工事業)	1月13日	月	男	55	墜落、 転落	掘削用機械	ドラグ・ショベルで約1mの高さに積みあがった伐採材の上を走行したところ、ドラグ・ショベルのバランスが崩れ横転しそうになったため、ドラグ・ショベルから飛び降り(転落)、横転したドラグ・ショベルの下敷きになった。	国
3	盛岡	商業	1月18日	土	男	23	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で行進中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、バスと正面衝突した。	
4	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	1月25日	土	男	21	はさまれ、 巻き込まれ	トラック	トラックの後進誘導を行っていたところ、電柱とトラックの間にはさまれた。	
5	宮古	清掃・と畜業	1月27日	月	男	62	墜落、 転落	トラック	ゴミ収集用のトラックの荷台に労働者が乗ったまま走行中、労働者が荷台から道路に転落した。	
6	盛岡	商業	1月29日	水	男	37	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で行進中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、対向車と正面衝突した。	
7	宮古	建設業 (建築工事業)	2月8日	土	男	64	墜落、 転落	はしご等	新築工事現場において、2階に置いてあった保護帽及び工具袋を取りに行くため、高さ2.7mの脚立を上っていたところ、脚立から転落した。	民間
8	盛岡	ビルメンテナンス業	2月11日	火	男	27	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	軽ワゴン車で走行中、圧雪状態でスリップし、対向車と正面衝突した。	
9	盛岡	建設業 (道路建設工事業)	2月27日	木	男	62	激突され	掘削用機械	道路整備工事現場において砂利を敷き均す作業をしていたところ、バックしてきたドラグ・ショベルに轢かれた。	地方公
10	花巻	製造業 (機械器具製造業)	2月28日	金	男	40	激突され	旋盤	加工材を手で保持して旋盤作業を行っていたところ、保持していた加工材が激突した。	
11	一関	教育・研究業 (その他の教育研究業)	3月12日	水	男	67	墜落、 転落	はしご等	ビニールハウスにビニールシートを貼り付ける作業中、高さ3mの三脚脚立から墜落した。	
12	盛岡	商業 (燃料小売業)	3月13日	木	男	53	墜落、 転落	整地・運搬・ 積込用機械	トラクター・ショベルで除雪作業中、トラクター・ショベルごと用水路に転落しトラクター・ショベルの下敷きになった。	
13	宮古	建設業 (電気通信工事業)	4月30日	水	男	66	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で行進中、運転を誤り自動車が道路左側の河川に転落し、同乗していた労働者が死亡した。	
14	大船渡	建設業 (その他の土木工事業)	5月8日	木	男	64	はさまれ、 巻き込まれ	トラック	ダンプトラックの荷台を上げ整備作業を行っていたところ、ダンプトラックの荷台と車体フレームの間に体をはさまれた。	地方公
15	宮古	その他の事業 (その他の事業 - その他)	5月29日	木	男	61	崩壊・倒壊	その他の 仮設物、 建築物、 構築物等	海上(漁港内)のホーリング用櫓(やくら)の足場で労働者3人が測定の作業を行っていたところ、櫓が倒壊したため同3人が海に落ち1人が溺死した。	
16	花巻	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業)	7月5日	土	男	62	墜落、 転落	足場	型枠の洗浄作業終了後、高さ1.8mの足場から前向きに墜落し、腹部を強打した。	民間
17	盛岡	建設業 (電気通信工事業)	7月31日	木	男	55	感電	電力設備	動力電源のルート変更工事において、配電盤のブレーカ端子を取り換えるため、ケーブルカッターでブレーカの活線(200V、225A)の切断作業を行っていたところ、感電した。	民間

18	釜石	製造業 (造船業)	8月4日	月	男	59	墜落、 転落	作業床、 歩み板	船の外周に組み立てられた、わく組足場の解体作業中、高さ7.2mの作業床から墜落した。	
19	花巻	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	8月4日	月	男	43	飛来、 落下	クレーン	木材(60×60×670cm、重さ1.8t)をクレーンで吊上げトラックに積み込む作業中、吊上げた木材が並べて置いてあった木材に接触し、その木材が崩れ落ちたため、崩れた木材とトラックの荷台に挟まれた。	

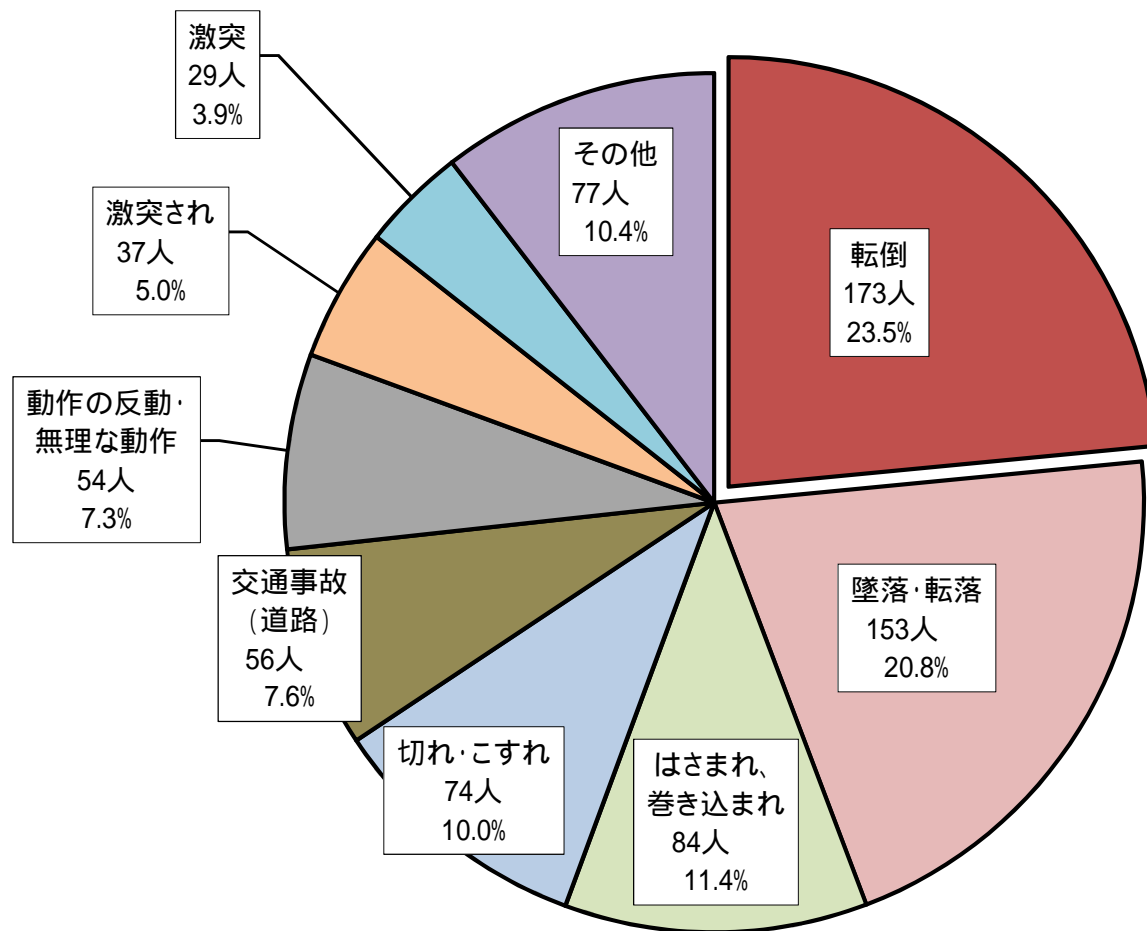
業種別	製造業 1人 (0人)	鉱業 0人 (1人)	建設業 7人 (1人)	運輸業 1人 (0人)	林業 0人 (1人)	商業 4人 (1人)	左記 以外 4人 (2人)	17人 (前年同期 6人)
監督署別	盛岡 7人 (0人)	宮古 4人 (1人)	釜石 1人 (0人)	花巻 3人 (0人)	一関 1人 (2人)	大船渡 1人 (0人)	二戸 0人 (3人)	
事故の型別	墜落・ 転落 6人 (0人)	転倒 0人 (0人)	飛来・ 落下 0人 (1人)	崩壊・ 倒壊 1人 (0人)	激突 され 2人 (2人)	はさまれ、 巻き込まれ 2人 (1人)	切れ、 ごすれ 0人 (0人)	
	おぼれ 0人 (0人)	高温の物 との接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 1人 (0人)	破裂 0人 (1人)	交通事故 5人 (1人)	その他 0人 (0人)	

注：()内は前年同期

グラフ 11

平成26年(1～7月)労働災害発生状況(事故の型別)

岩手労働局



平成26年7月末の速報値である。
数字は死亡者数(内数)である。

【参考】

平成26年 労働災害発生状況 (平成26年7月末現在)

岩手労働局

業 種		26年計	25年	増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
製造業	水産食料品	19	9	10	111.1%		2	3	2	6	4	2					
	上記以外の食料品	39	40	-1	-2.5%	10	12	3	7	2	4	1					
	繊維・衣服その他繊維製品	6	4	2	50.0%		1		3	1	1						
	木材・木製品、家具・装備品	26	29	-3	-10.3%	6	6	4	3	3	1	3					
	パルプ・紙、印刷・製本	3	8	-5	-62.5%	1	1	1									
	化学工業	4	9	-5	-55.6%		1	3									
	窯業土石製品	11	6	5	83.3%	2	1		5		3						
	鉄鋼業、非鉄金属	8	6	2	33.3%	1	2	1	1	1	2						
	金属製品	16	13	3	23.1%	1	1		6	2	5	1					
	一般機械器具	7	8	-1	-12.5%	1	5			1							
	電気機械器具	3	7	-4	-57.1%	1				1	1						
	輸送用機械製造	5	4	1	25.0%	1	1	1				1	1				
	電気・ガス	0	0	0													
	その他の製造業	10	8	2	25.0%												
小計	157	151	6	4.0%	24	36	16	30	19	24	8						
鉱業	4	5	-1	-20.0%	2		2										
建設業	土木工事	50	38	12	31.6%	9	7	7	7	10	5	5					
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	11	20	-9	-45.0%		4	3	2		1	1				
		木造家屋	41	35	6	17.1%	7	7	11	4	2	6	4				
		その他の建築工事	23	24	-1	-4.2%	1	2	4	4	7	3	2				
	その他の建設	23	18	5	27.8%	1	2	3	6	1	8	2					
小計	148	135	13	9.6%	18	22	28	23	20	23	14						
運輸交通業	道路貨物運送業	71	64	7	10.9%	14	11	17	8	7	8	6					
その他の運輸交通業	16	11	5	45.5%	5	5	2	1		1	2						
貨物取扱	0	2	-2	-100.0%													
農林業	農業	5	8	-3	-37.5%	3	1				1						
	林業	33	37	-4	-10.8%	8	3		6	7	2	7					
畜産水産業	畜産業	17	17	0	0.0%	2	2	3	2	4	1	3					
	水産業	5	2	3	150.0%		2	1	1	1							
商業	小売業	72	77	-5	-6.5%	20	17	11	8	7	4	5					
	その他の商業	26	19	7	36.8%	3	3	3	6	4	5	2					
通信業	21	29	-8	-27.6%	7	5	3	3	1		2						
保健衛生業	社会福祉施設	37	38	-1	-2.6%	4	12	8	4	4	5						
	その他の保健衛生業	8	11	-3	-27.3%	4	2	1	1								
接客娯楽業	旅館業	9	15	-6	-40.0%	3	2	2	1		1						
	飲食店	19	12	7	58.3%	1	6		5	3	4						
	その他の接客娯楽業	5	9	-4	-44.4%	1	2		1		1						
その他	ビルメンテナンス業	17	12	5	41.7%	3	6	1	1	1	1	4					
	その他(上記以外の業種)	67	74	-7	-9.5%	7	13	10	7	11	10	9					
合 計	737	728	9	1.2%	129	150	108	108	89	91	62						

(注)平成26年7月末の速報値である。

数字は死者数(内数)である。